

丘のまちびえい活性化協会

(農泊)

上川総合振興局

【団体の特徴・理念】 持続可能な「日本で最も美しい村」観光地マネジメント ～くらしに貢献できる観光の実現を目指して～
 「来た時より美しく」次世代に美瑛を引き継ぐために、美瑛町における農業および観光業の重要性について地域住民の理解を醸成しながら、農業と観光の共生、住民と観光客の共生を図り、「住んでよし、訪れてよし」の観光地域づくりを目指していく。

【地域の概要】

①自然環境

北海道のほぼ中央に位置。大雪山国立公園に広がる十勝岳連峰の麓で営まれる丘陵地帯での畑作が特徴。



②人口

美瑛町：9,834人(R2.8.31現在)



③主な産業

<農業>

小麦・馬鈴薯・甜菜・豆の主要品目に加え、アスパラ・トウキビ・トマトの生産も盛ん。

<観光業>

パッチワークの丘と呼ばれる風光明媚な農業景観が特徴。青い池や花畑も人気を集め、年間200万人以上が訪れる。



④イベント等

- ・ヘルシーマラソン (6月)
- ・那智・美瑛火祭り (7月)
- ・センチュリーライド (9月)
- ・宮様スキーマラソン (2月)

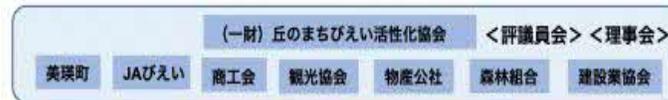


【団体の概要】

①設立年

平成24年10月1日

②構成員・代表者 (又は団体)



③設立の経緯 (きっかけ)

美瑛の全ての人・産業・地域社会に貢献する組織であり、さまざまな事業を通して、地域活性化を図ることを目指して設立された。

④活動内容

<活性化事業>

- ・施設管理 (交流館bi.yell/道の駅白金ビルケ)
- ・地域ブランディング ・産業振興/事業家支援

<DMO事業>

- ・体験プログラムの開発 ・CRMによる分析
- ・観光地域マネジメント (観光マナー対策等)

⑤現在の課題

- ・観光マナー問題の解消 (畑への立ち入り等)
- ・通過型観光からの脱却 (滞在時間を増やす)
- ・季節偏重性の改善 (夏以外の時期への誘客)

【主なコンテンツの種類及び実績】

①宿泊者数 (人)

年度	入込数	日帰り数	宿泊者数	宿泊延数
H29	1,679,400	1,484,900	194,500	271,800
H30	2,261,700	2,069,600	192,100	269,000
R1	2,419,200	2,253,700	165,500	230,400

②体験メニュー (人)

年度	グリーン シーズン(9)	ホワイト シーズン(5)	通年(3)	延べ 体験者数
H30	41	240	—	281
R1	451	471	99	1,021
R2	73	—	—	73

③利用状況

【利用者の形態】

- ・美瑛ファンのリピーターを含めた道外の日本人が中心
- ・H30年度は、団体531名・業務旅行62名が含まれている
- ・インバウンドは、個人客のうちの2割弱でまだ多くない
- ・お一人で参加するニーズも結構多い

【利用者の声】

- ・今までは好きな場所を車で回るだけだったが、今回は畑に入れるということで、ものすごく楽しみにしていた。
- ・とうもろこしを生で食べられるなんて知らなかった。想像以上に甘くて、果物の梨を食べているようだった。
- ・一面の小麦畑の中を歩けるのは、貴重な体験だった。まるで映画の主人公になった気分だった。
- ・アスパラが土からニョキニョキ生えてる姿を初めて見た。生でかじっても美味しかったので、実家に1箱送った。

【特徴的な取組】



<農村体験型プログラム>

夏は生産農家の畑を使った収穫体験や畑を歩くフットパス、冬は雪の丘を歩くスノーシューや若手農家が主役のアクティビティを企画・造成。あえて生産農家を巻き込んで『農業×観光』のつながりを作るとともに、「農業体験」＋「地元の食」をセットにした特別な時間を提供し、見るだけではない観光地域作りを目指した。

また、ガイド資格制度を立ち上げ、案内役の育成を進める仕組みも構築。お客様を楽しませながら、観光マナーの啓蒙も同時に行っていく態勢作りにも努めている。

- 例)
- ・アスパラを鎌で刈り取り ⇒ 生でかじってみる ⇒ 炭火焼きBBQに
 - ・鎌で麦刈り ⇒ 麦畑で写真撮影 ⇒ 美瑛産小麦100%のパンを試食
 - ・作物の説明をしながら畑を歩くフットパス ⇒ 牧場ソフトを試食
 - ・トウキビを手もぎ収穫 ⇒ 白を生でかじる ⇒ 茹でた黄色と味比べ
 - ・カラフルじゃがいもを手掘り ⇒ 牧場バターのじゃがバターを試食
 - ・雪の丘をスノーシューで歩いて絶景を撮影 ⇒ カフェでランチ
 - ・若手農家をガイド役に、雪板・エアボード・スノーモービル体験

<CRM（顧客情報管理）>

プレゼント付きのアンケートキャンペーンを行い、観光客のデータを収集・分析。ターゲティングやペルソナ設定を行うとともに、毎月メールマガジンを発行してリピーターを増やすファン作りにも取り組む。（配信数10,000通／開封率40%）

<美瑛観光ルールマナー110番>

観光マナーの改善を目指す取り組みとして、畑への立ち入り等のマナー違反を見つけた際に、写真や動画で情報を寄せる窓口を開設。立入禁止看板やパトロールだけでなく、広く一般の方の協力も募る形で観光マナー問題の解消を目指している。

【連絡先】

代表窓口：丘のまちびえい活性化協会

（事務局 担当：泉 剛生

TEL：0166-74-5757 E-mail：dmo@biei-act.jp）